

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名宮城県気仙沼市立鹿折小学校

(※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校, 各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒988-0817

宮城県気仙沼市西八幡町54-1

E-mail shishiori-sho@kesenuma.ed.jp

Website

幼児児童生徒数 男子 104名 女子105名 合計209名
幼児・児童・生徒の年齢7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

※記入にあたっては,末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1, 2-1 に対応

当校は、「夢や希望に向かって主体的に学ぶ、心身のしなやかで、すこやかな児童の育成」を学校目標として、E S Dを「自分と自然環境・人・社会との関わりやつながりを理解し、よりよい関係をつくろうとする児童の育成の場」と捉え、E S Dの実践を通して、「批判的に考える力」「未来像を予測して計画を立てる力」「多面的、総合的に考える力」「コミュニケーションを行う力」の育成を目指した。

【3年】総合的な学習の時間「鹿折の宝・人・自然・ものを見つけよう」

・鹿折の文化や伝統行事について調べ、発見した地域のよさを「地域の宝」としてまとめた。グループで紹介し合う中で、大切に受け継がれてきた地域の歴史について学ぶことができた。また、ゲストティーチャーから、「白山小唄」や「浪板虎舞」について話していただき、唄に込められた地域の発展を願う人々の思いや、それを受け継ぎ後世に伝えていこうとする人々の努力や工夫についても知ることができた。練習してきた「白山小唄」など3曲を学習発表会で発表し、伝統継承の一員としての自覚を養うことができた。

【4年】総合的な学習の時間「鹿折川から環境を考えよう」

・鹿折川の中流で、水中生物を調査した。指標生物の住み分けについて、iPadのアプリを活用して調べる活動から、水質について関心をもたせ、鹿折川と環境についての課題設定をした。また、自分の生活と関連付け、下水道についても調べる中で、自分と水環境との関わりについて気付き、グループで意見交換をした。疑問点は浄水場の方のお話から学んで解決し、分かったことをグループでまとめ発表会を行った。更に、海につなげていくために漁師から漁業と海水について学び、地域の環境保全に進んで関わりたいという意識を高めた。

【5年】総合的な学習の時間「つながろう ふるさと鹿折と豊かな海」

・鹿折地域の特色と産業について調べる活動を通して、地域の人・自然・ものへの関心をもち、地域産業が海洋資源と深く関わりがあることに気付くよう工場見学の計画を立てた。資料やインターネットでも調べ、発見した相違点については全体で話し合っ整理した。よりよい未来をつくるために自分たちができることをテーマごとにまとめ、4年生に向けて発信し質疑応答する時間を通し、自分たちの活動と学びに自信をもち、海洋環境保全についての関心を高めた。

【6年】総合的な学習の時間「鹿折の未来について考えよう 私たちができること」

・東日本大震災後の復興途上にある鹿折地区の現状を見つめ、町づくりの課題について話し合い、学習計画を立てた。10年後を想像し、どのような街にしていきたいか、家族からも聞き取りをし、課題解決のためにできることを考えた。また、白山・鹿折・浦島地区それぞれのまちづくり協議会からゲストティーチャーを招き、未来がどうあるべきかディスカッションを行う中で、課題だけでなく地域のよさや取組の成果を実感することができた。更に活動結果と練り合った未来地図について、パワーポイントを活用して、「まちづくり協議会」の方々を含めた大人に情報発信する活動を通し、ふるさとへの誇りをもった。



3年 鹿折の宝：浪板虎舞



4年 鹿折川の観察

(2) 活動の詳細

① 活動内容

当校は、E S Dの活動を総合的な学習の時間に位置付けている。総合的な学習のテーマは、地域学習、防災学習、狭山茶学習の3つである。

地域学習の各学年のテーマは、以下の通りである。

【3年】総合的な学習の時間「鹿折の宝・人・自然・ものを見つけよう」

【4年】総合的な学習の時間「鹿折川から環境を考えよう」

【5年】総合的な学習の時間「つながろう ふるさと鹿折と豊かな海」

【6年】総合的な学習の時間「鹿折の未来について考えよう 私たちができること」

防災学習の各学年のテーマは、以下の通りである。

【3年】地域の災害と身の守り方

【4年】地域の防災マップを作ろう

【5年】地域の津波被害を考えよう

【6年】災害時にできること

狭山茶学習は、5年生が主に学習する。他の学年は、狭山茶の世話を年間で2時間行う。

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解,文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化,文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的,総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍,ウェブサイト,パンフレットなど具体名）

・「鹿折の昔話」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

当校では、生活科や総合的な学習の時間、教科、特別活動等の教育課程にユネスコスクールとしての活動を位置付けている。

具体的には、生活科では、「学校探検」「町探検」の活動を通して、自分と他者との関わりに気づき、気付いたことを他者に伝える活動を行う。

総合的な学習の時間では、防災学習と地域学習をテーマに取り組んでいる。

教科では、国語、社会、算数、理科、音楽、図工、体育で活動を通して育てたい資質や能力を高めている。

特別活動等では、学校行事や学級活動、外国語活動等で教科同様に育てたい資質や能力を高めている。

指導内容や指導方法の工夫改善については、毎月の職員会議で話題とするとともに、学期ごとの反省会で改善点を話し合い、見直しを図っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・ 毎月の職員会議、毎週の打ち合わせの時間に話題としたり、情報交換を行ったりしている。
- ・ 校務分掌の中に担当を設け、学校内外の連絡調整などを行っている。
- ・ 気仙沼市の小中学校がすべてユネスコスクールに加盟しているので、積極的に研修会等に参加し、当校からの情報発信を行うとともに、他校からの情報提供等をいただき、当校の活動について振り返りができるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ・ 学期末の「学校経営反省会」で、ユネスコスクールとしての活動について反省を行い、学習テーマや学習内容は適切か、児童にどのような資質や能力が育ったかを話し合い、よりよいものに改善している。
- ・ 成果としては、東日本大震災で大きな被害を受けた鹿折地域について、児童に過去から未来に向かって鹿折地域をESDの観点で捉え直し、学習させていくべきではないか協議し、総合的な学習の時間のテーマを一新した。
- ・ 課題としては、この学習を支える地域人材の洗い出しと、教材の更なる精選が必要である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

・発信方法としては、学校のHPに定期的に学習の様子について紹介してきた。総合的な学習の時間の授業や生活科での授業等、写真や文章で詳しく紹介してきている。
また、学芸会では、総合的な学習の時間に学習した地域の伝統的な踊りを取り上げ、3年生が講師の方から指導していただき、成果を発表した。
・このような情報発信を通じて、保護者や地域の方々のみならず、全国の方から活動に対する励ましをいただいている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

・「気仙沼とともに歩む会さやま」の皆様から震災後に多大なる御支援をいただき、現在では実際に学校のそばの畑での狭山茶の栽培を通して、年に5回程度狭山茶の指導をしていただいている。(この活動は、総合的な学習の時間に行っている。)
・鹿折公民館とも協働し、地域学習の講師になっていただいたり、地域のイベントを紹介していただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

・気仙沼市の小・中学校はすべてユネスコスクールに加盟しているので、定期的な研修会等で交流を深めている。また、全国規模のユネスコスクールの研修会にも参加の機会を与えていただき、情報交換をさせていただいている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度) ※チェック事項 2-5 に対応

- ・総合的な学習の時間の地域学習では、テーマにストーリーをもたせた。3年生で「鹿折の宝」として、地域の人・自然・もの・文化を学ぶ。4年生では、「鹿折川」について調べ、地域の環境問題について学ぶ。5年生では「鹿折の海の恵み」というテーマで、水産業や水産加工業について学ぶ。6年生では「鹿折の未来」について、震災から鹿折の町をどのように復興させていくかを考えさせる。3年生は過去の鹿折地域、4、5年生は現在の鹿折地域、6年生は未来の鹿折地域と学年が上がるにつれ、扱うテーマが時間の進捗と連動するようにした。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- ・平成30年度は、これまでの実践の積み重ねを大切にしていけるとともに、気仙沼市で新たな課題として取り上げている「海洋教育」と、どのような関連付けや発展ができるのかを模索していく。
- ・これまでの実践の成果を基にして、当校に新しく赴任した教師でも、授業に抵抗なく取り組めるようなカリキュラムや教材の精選を行うとともに、地域人材リストや協力していただいている団体等のリストを整備していく。
- ・情報発信として学校のHPを大いに活用するとともに、他の手段の活用方法についても、さらなる模索をする。